

こころ（心）

2020(令和2)年7月15日発行

第 88 号

糸島市人権・同和教育
推進協議会 波多江支部
糸島市立波多江コミュニティセンター
☎ 322-1614

〈活動スローガン〉 ～考えようお互いの気持ち、育てよう思いやりの心～

7月は同和問題啓発強調月間です

福岡県と県内の市町村では、同和問題の早期解決を目指して、住民一人ひとりの理解を深めるため、昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、講演会や研修会、街頭啓発などを実施し、差別をなくす取り組みを展開しています。

糸島市でも積極的に行なっています。

同和問題とは

かつて日本の歴史の中で生み出された差別が、現代社会に、いまだに残っているという問題です。

特定の地域の出身であることやそこに住んでいるということを理由に、日常生活のうえでさまざまな差別を受けている人がいるという現実があります。

このことは、重大な人権問題です。

同和問題を解決することは、日本国憲法にある基本的人権の実現をめざすことになります。

「そっとしておけば、同和問題は自然になくなる」という声があります。本当にそうでしょうか。

人々の差別意識が解消されずに残っていれば、差別がなくなることはありません。

だれかの人権が傷つけられてしまう社会では、そこで暮らす私たち自身の人権も、いつ傷つけられるかわかりません。同和問題の解決は、私たち一人ひとりの課題です。

同和問題の解決のためには、私たち一人ひとりが避けて通らず、正しく学び、理解することが大切です。

波多江支部が活動で目指すのは…

波多江支部は「差別のない明るく住みよい人権の確立した地域」を作る活動をしています。

私たちの周りには様々な人権に関する問題があります。同和問題をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、HIV感染者やハンセン病患者、性的少数者、インターネットに関することなどがそれです。

人権問題が身近なところで起こった時に、一人ひとりが人権尊重の立場で行動できるよう、情報の発信や研修の機会を提供します。

行政区研修会、講演会、映画会、展示会など、今年は新型コロナウイルスのために中止せざるを得ない行事もありましたが、今後についてはいろいろなかたちでお知らせしますので、積極的にご参加いただき、人権について考える機会にしてください。

今年度の行政区人権・同和教育推進委員紹介

(敬称略)

高田東	(野上 ^{かすみ} 和美 ・ 野中 ^{まこと} 誠)
高田西	(松元 ^{たかゆき} 高行 ・ 中村 ^{まさよし} 正義)
池田南	(津城 ^{かすえい} 一榮 ・ 磯本 ^{まさのり} 正則)
池田北	(鳥巢 ^{みちお} 道雄 ・ 末松 ^{としみ} 利美)
板 持	(小楠 ^{とおる} 徹 ・ 鶴川 ^{りょうすけ} 良介)
波多江	(山本 ^{よしてる} 吉輝 ・ 望月 ^{ゆうじ} 裕治)

※推進委員は、広報や研修の企画、立案、地域で行なわれる研修会の運営などを担当します

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別をなくそう



新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者やその家族等への誹謗中傷やいじめ差別的な対応といった人権侵害が起きています。

また、感染症の治療にあたっている医療従事者の子どもが幼稚園や保育園への登園自粛を求められたり、家族が勤め先から出勤を見合わせるよう指示されるといったことも起こっています。

あるいは、学生の感染を発表した大学では近隣の飲食店から学生の入店を断られたり、長距離トラックのドライバーの子どもがいじめを受けるなどの事案も発生しています。

目に見えないウイルスや経験したことのない感染に対する不安から、感染症に関わる人を過剰にさけようと、差別的な対応をとってしまっているのです。

最近ではSNS（ソーシャルネットワークサービス）による新型コロナウイルスに関する誹謗中傷やいじめも多発しています。

自分自身の感染が疑われる場合でも、差別をおそれ、医療機関での受診や検査をためらい、結果的に感染が拡大するという負の連鎖を引き起こしてしまいます。

新型コロナウイルスに感染した方、日々感染の治療にあたっている医療従事者やその家族、海外渡航歴のある人などに対して、不当な差別や偏見、いじめ、誹謗中傷があってはなりません。

差別や偏見に同調せず、一人ひとりの行動で負の連鎖を断ち切り、一刻も早く、新型コロナウイルスの終息にむけて「新生活様式」で乗り越えましょう。

新型コロナウイルス感染症予防のため3密を避けましょう

- ① 密閉（窓がなかったり、換気ができなかったりする場所）
- ② 密集（人が多く集まったり、少数でも近い距離で集まる場所）
- ③ 密接（互いが手の届く距離で、会話、発声、運動をすること）

**マスクの着用や消毒液などによる手指の消毒、換気の励行を行ない、
新型コロナウイルスの感染拡大防止につとめましょう。**